

新人柔道大会要項

- 1.大会名 第40回 宗像区中学校新人柔道大会 第30回 宗像区中学校新人女子柔道大会
- 2.期 日 令和5年10月7日(土)予備日:令和5年10月8日(日)集合8:20(役員集合8:10) 計量8:40
審判監督会議8:50 開会式9:00 競技開始9:15
- 3.会 場 津屋崎武道館 (福津市津屋崎1丁目5番16号)
- 4.参加制限 ○団体戦(1)男子チームは監督(校長・教員・部活指導員)1名, コーチ1名, 選手7名以内。
(2)女子チームは監督(校長・教員・部活指導員)1名, コーチ1名, 選手4名以内。
コーチは各学校1名とする。(男子コーチと女子コーチ兼任)
- 5.競技方法 (1)男女とも、団体戦のみとし、参加全チーム総当たりリーグ戦を行う。
(2)チーム間の勝敗は次のとおりとする。
 - ①勝者数の多い学校を勝ちとする。
 - ②①で同等の場合、「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる勝者の多い学校を勝ちとする。
 - ③②で同等の場合、「技有」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
 - ④③で同等の場合、「僅差」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
 - ⑤④で同等の場合、リーグ戦では「引き分け」とする。(3)リーグ戦の順位は次のとおりとする。
 - ①リーグ戦を通じて、チーム間で勝ち数の多い学校を上位とする。
 - ②①で同等の場合は、リーグ戦を通じて勝者数の多い学校を上位とする。
 - ③②で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多い学校を勝ちとする。
 - ④③で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
 - ⑤④で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
 - ⑥⑤で同等の場合は、リーグ戦を通じて敗者数の少ない学校を上位とする。
 - ⑦⑥で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる敗者数の少ない学校を上位とする。
 - ⑧⑦で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による敗者数の少ない学校を上位とする。
 - ⑨⑧で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による敗者数の少ない学校を上位とする。
 - ⑩⑨で同等の場合は、代表戦(1名)により、順位を決定する。代表戦に出場する選手は、チームから任意により1名を選出する。
- 6.競技規則 (1)引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、出場校の教育職員(部活動指導員を含む)とする。ただし、教育職員以外のコーチは、学校長が認め、福岡県中体連に登録し、承認を受けた者とする。服装は、審判員に準じた服装とし、マナーを守り、良識ある態度で生徒の指導にあたる。
(2)国際柔道連盟試合審判規定(2022~2024)、「少年大会申し合わせ事項」、及び本大会の申し合わせ事項による。試合時間は3分間とする。代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。勝敗の判定の基準は、「一本」「技あり」または「僅差(指導の差2以上)」以上とする。
(優勢勝ちの成り立ちは次の通りとする。「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「僅差」)
(3)リーグ戦において、チーム間の内容が同等の場合は代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア方式)により勝敗に決する。延長戦による勝敗は、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点で決する。
(4)競技規則に、問題が起こったときは、専門委員会で協議する。
(5)チーム編成(オーダー)は体重順とし、一番軽い者が先鋒、一番重い者が大将とする。なお、補欠の選手を入れる場合も、体重順になるようにする。(体重が同じ時は、どちらでもよいが、途中で入れ替えはできない。)

- ①試合は、選手5名(女子3名)の対抗戦とする。オーダーの変更は認めない。
- ②一度退いた選手は、再出場を認めない。
- ③すでに申し込みをしている選手を事故のために変更するときは、大会開始前において、学校長の職印を押した届けをもってこれを認める。※補欠選手の補充を行う。
- ④欠員が生じた場合は、大将側から並べ直し、先鋒側から空きとする。
- (6)柔道着の色は白色とし、帯は白帯と黒帯のみとする。柔道着については、全日本柔道連盟が定める規定とする。
- (7)柔道着にゼッケンを着用して試合をする。(学校名・名字入り)
 - ①布地は白色とし、サイズは横 30～35 cm、縦 25～30 cm
 - ②名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
 - ③書体は太字ゴシック体とする(明朝体または楷書でもよい)
 - ④文字色は、男子黒色、女子濃い赤色とする。
 - ⑤襟から5～10 cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- (8)女子は上衣の下に白色または白に近い色の半そでの丸首シャツまたは半袖のレオタードを着用すること。なお、Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規定(平成 25 年 4月1日より施行)に準ずる。(最大4×5cm, 1カ所のみ)
- (9)団体戦出場選手は、大会当日の指定された時間帯に体重測定を必ず行うものとする。時間内に体重測定を行わなかったチーム・選手は、出場を辞退したものとする。
- (10)柔道着コントロールは、往来通りの方法で実施する。柔道着(上下)、帯の赤枠の IJF マーク又は全柔連認証番号ラベルが必要。

7.申し合わせ事項 (1)計量時にマナーチェックを専門部で実施する。

(2)AEDは武道場玄関に設置し、監督会議で周知する。

(3)Jアラート等警報時は、即座に競技進行を中断し、避難体制をとる。大会が中断した場合、中体連事務局及び専門部で協議の上、再開の判断を行う。

8.外部指導者(コーチ)のベンチ入りについて

- (1)令和5年度福岡県中学校体育連盟外部指導者登録要項により手続き・登録が完了している者。
- (2)コーチのベンチ入りは男女を問わず1校1名とし、ベンチ入り希望者は、大会出場申込書に明記し、申請を行う。当日のベンチ入りは大会出場申込記載の本人に限る。
- (3)服装は、審判員に準じた服装とし、マナーを守って指導にあたる。
- (4)その他、大会本部により申し合わせた事項を、監督会議の折に各学校の監督に連絡する。

9.参加資格 宗像区大会参加資格による。

10.表彰 男女とも団体戦の1～3位まで表彰する。筑前大会については男女とも3位までが出場資格を得る。
※前年度優勝校 男子 城山中学校 女子 福間中学校

11.専門委員 専門部長 木村 騰哉(城山)

(城山) 花田 英雄 和田 翠 西宮 裕二 (福間) 花田 朋子 水崎智津子
(津屋崎) 井上 真理子 井上 伸和 佐賀 千穂 (中央) 奥村 美沙樹
(河東) 井料 桂子 (玄海) 藤原 隆次

12.組み合わせ 組み合わせ(試合順)は、専門部で協議し、決定する。

13.申し込み 規定の申し込み用紙に書き込み、校長職印を押し、令和5年9月29日(金)までに、郵送かFAXにて申し込むこと。FAXの場合は当日の開会式までに原本と差し替える。

(〒811-4145)宗像市陵巖寺1丁目13-1 城山中学校内 木村 騰哉 宛
TEL 0940-32-3039 FAX 0940-33-8649

14.その他 試合終了後すぐに監督会議を開き、筑前地区大会の申込み手続きを行う。